

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月3日

【評価実施概要】

事業所番号	0971300090		
法人名	社会福祉法人悠々の郷		
事業所名	グループホーム生きいきの里		
所在地	栃木県那須塩原市塩原814番地 (電話) 0287-32-3381		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成21年7月30日	評価確定日	平成21年9月3日

【情報提供票より】(平成21年7月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤7人(うち兼務1人)、非常勤1人	常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建ての2階部分
------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	13,000 円	その他の経費(月額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費—19,500円</li> <li>共益費—7,500円</li> <li>個人的外出の交通費—100円/1km</li> <li>理美容代、おむつ代、嗜好品の購入—実費</li> </ul>	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	—	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	150 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(平成21年7月12日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 80.8 歳	最低	69 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	栃木県医師会塩原温泉病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>当ホームは、那須塩原市(旧塩原町)の温泉街にあり、元町立病院を改修し、1階が同法人が運営するデイサービスセンター、2階がグループホームになっている。「利用者が自分らしさを大切にして、地域の中で家庭的な雰囲気のもと、居心地よい共同生活が送れるよう、ご家族とともにお手伝いさせていただきます。」を理念に掲げている。また、入居者の緊急時の対応や安全保持のため、夜間宿直1名、夜勤1名の職員が配置されており、夜間時の入居者との向き合う時間が多く取れ、また、緊急時の素早い対応を重視したホームである。</p>
--

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価を受けて、ケアプランについて細かく見直し、運営推進会議においては、概要表を印刷して配布し、その他の項目については、口頭で報告している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、前回の評価を参考に管理者の判断において作成された。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議になるべく多くの入居者と家族に参加してもらうため、ホームで開催する食事会や行事時に開催している。会議では、ホームの活動状況を報告し、家族からの要望を聞き、委員からの助言をもらって運営に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族は、月1回以上はホームの行事や交流会、運営推進会議等でホームを訪れており、要望や苦情等について、その都度伺っており、出された意見等は運営に反映されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>毎月、階下のデイサービスセンターと合同で地域住民を招いて交流会を催している。散歩の際に地域住民と挨拶したり、地域の祭り等に参加し、交流を図っている。自治会に加入しているが、会議や活動への参加、回覧板の回覧などは今のところない。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員とのヒアリング、管理者の考え、他のグループホームを参考に理念を作り上げた。「その人らしさ」「地域の中で家庭的に」を重視し、入口に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営推進会議において、「理念」をプリントして家族に渡している。又、事業計画と共に全職員に浸透させている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の加入はしているが、回覧板回し等の役割はない。老人会の加入もない。その為地域の行事や様子がわかりづらい。入居者が重度化してきた為、地域の祭り程度の参加になっている。	○	自治会活動への参加も検討したが、清掃活動は早朝であり対応が難しいので断念した経緯がある。運営推進会議には自治会の代表者も加わってもらっているため、今後も地域との日常的な関係作りを進めていくことに期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果を受けて、ケアプランについて細かく見直す機会が増えた。運営推進会議に於いて、概要表はプリントして渡し、その他の項目は口頭でお伝えしている。前回の評価を参考に、管理者の判断において作成されている。	○	改善策への取り組みの為、全職員が関われる自己評価になるよう期待したい。

グループホーム生きいきの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議だけではなく、入居者との食事会や、行事も兼ねて呼びかけている。全員に呼びかけているが、出席メンバーは限られている。</p>	○	<p>議事録については、記録等を職員全員で分担したり、会議の資料等も綴り、「テーマ」等も提示しながら進めていくことを期待したい。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の「地域密着型サービス事業者連絡協議会」の会合は、昨年2ヶ月に一度あったが、今年度は3ヶ月に一度になった。研修等も予定されている。行政との行き来は、特に活発に行われていない。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「グループホームだより」は年6回、家族と区長に渡している。入居者との面会の機会を設けるため、利用料の支払いは、直接ホームに届けてもらっている。</p>	○	<p>現在の「ホームだより」を活用し、職員の異動等を知らせ、また、ホームが金銭管理を行っているケースがあるが、金銭の用途については、金銭出納帳等の明示を定期的に報告するなどして家族の確認が得られるようお願いしたい。</p>
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議において、意見や不満をざっくばらんに述べて頂いており、家族等の意見は反映されている。「家族会」は特に作っていない。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係になった頃離職があり、入居者が淋しい思いをしない様、職員が多く関わることで対処している。</p>		

グループホーム生きいきの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体の研修を毎月一回実施している。内部、外部講師を招いての勉強会だが、グループホームからは毎回3名程度出席している。今年度は、外部研修に積極的に参加する様にしている。欠席者には書類のみ渡して、特に話し合いの機会等はない。	○	外部研修に参加したいが、日々の勤務における人員の確保を考慮すると、参加しづらいとの事なので、何らかの方法を検討するよう期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「地域密着型サービス事業者連絡協議会」への出席において、交流を図っている。相互訪問については、まだ実施されていない。	○	同業者と交流することによって、自分達のグループホームをふり返り、見直す事ができるので、相互訪問の機会が持てるよう期待したい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、ケアマネジャーや家族と情報交換しながら入居を進めている。入居後は、見守りを中心に職員の声かけを密にしているので、現在おおよその入居者は、納得してホームでの生活を送っている。	○	入居者の安心や家族の納得の為にも、入居前の家庭訪問や体験入居等を積極的に実施する検討を更に期待したい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、入居者から煮物の味付けや調理方法を、教えてもらっている。特に郷土料理等は、入居者の経験を引き出し、生き生きと過ごせる時間が持てる。戦争体験を聴いて共感したり、日本古来の風習や行事についても、色々教えてもらっている。		

グループホーム生きいきの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者一人ひとりの生活ペースに合わせて、積極的に声かけしながら、楽しみを共に作り上げている。宿直と夜勤2名体制の為、夜勤時にゆっくりとした時間が取れ、入居者と向き合うことができる。自主的に発言出来ない入居者には、階下のデイサービスでレクリエーションをしたりして、楽しんでもらえるようにしている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>チームとして集まっての話し合いに基づいた介護計画の作成は、今のところ難しく、事後報告になってしまっている。</p>	○	<p>本人は勿論のこと、家族の要望や意向を深く掘り下げ、十分に把握した上での介護計画の作成を、期待したい。</p>
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者に対して、担当職員が決まっているので、聞き取りをしながら、きめ細かい計画を作成している。毎月第一月曜日にミーティングをして、新たに計画を練り直している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院介助については、基本的に家族が対応しているが、出来ない場合は職員が行っている。個人の要望に関しては、極力対応（外食、帰宅、レクリエーション）している。個人旅行等も実施している。</p>		

グループホーム生きいきの里


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族が希望するかかりつけ医での受診を支援している。通院等の付き添いは家族が行う事が原則であり、受診結果等の報告は、家族から口頭で確認している。	○	職員間での情報の共有の為に、書面での伝達工夫も期待したい。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、入居者が重度化した場合のケアが難しい状況にあるが、一部の入居者や家族とは、重度化した場合の方向性について話し合っている。	○	重度化したり、終末期の対応についての方針を検討し、書面での家族等との確認をしておく事も検討することを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員の入居者への声かけは、親しみの中にも尊敬を持って接しており、入居者の個性に合った対応も感じられる。トイレは、旧病院からの転用のため、構造上扉が付かないが、入居者のプライバシーに配慮し二重カーテンにしている。	○	トイレについては、ホームの入口付近ということもあり、アコーディオンカーテン等で、入居者のプライバシーが保てる工夫するなど早急に改善されることを期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	階下のデイサービスでのレクリエーション、散歩等で楽しみを共有しながら、希望に沿う支援を提供している。		

グループホーム生きいきの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは食事の都度、冷蔵庫にある食材等から職員が直前に決めている。職員は、入居者とスーパーに買い物に出かけ、食材の買い物をしながら、「食」についてのコミュニケーションを深めている。	○	同法人の特別養護老人ホームの栄養士を活用し、献立を作成して貰う事により、入居者の栄養面や、職員の負担、食材購入の経費節減に繋げるなど、今後の取り組みに期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	殆どの入居者が、階下のデイサービスの温泉での入浴を、楽しみにしている。入浴をしたがらない入居者には、健康につながる話をし、根気よく声かけをし、促している。午後は毎日入浴できる環境を整えている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	希望者に対しては、家事全般、趣味活動、外出等の支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	路面凍結する冬場を除き、3日に1度の買い物や、近隣の自然と親しみながらの散歩をしている。入居者は、月1回の外食を楽しみにしている。	○	外食を楽しみにしている入居者の為に、今後も外食の機会を増やせるよう期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はなく、日中は玄関の鍵も開けており、見守りや、外出付き添いも自然に出来ている。		

グループホーム生きいきの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	開設当初から、階下のデイサービスと毎月避難訓練を行っている。消防署も年2回協力している。地域の人々への協力要請はしていない。	○	区長や民生委員等に依頼して、訓練に参加して貰いながら、災害時の対応の呼びかけを検討するよう、期待したい。また、訓練時等の機会を利用して、運営推進会議の出席も依頼し、地域の人々の協力が得られるよう期待したい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量や食事の摂取状況、栄養バランスについては適切に把握されているが、詳細に記録していない。	○	入居者一人ひとりの1日の水分・食事の摂取量の把握や栄養バランス等のチェックができるよう期待したい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレは二重カーテンになっているが臭いはない。ホーム内の掃除はいきとどいている。花や野菜のプランターをベランダに配置し季節感を取り入れている。喫煙習慣のある入居者の為のスペースは、ベランダ付近に設けられており、他の入居者に影響のない位置にある。	○	トイレは、ハード面での改修は難しい状況だが、家族や外来者に広く意見を求め、居心地の良い空間づくりをしていく事を期待したい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、入居者一人ひとりの個性で趣味のギターなどを持ちこみ、その人らしく居室づくりされている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。